

虚空蔵社古墳

市指定史跡である。久遠寺川の東側にあり、墳丘頂上部に虚空蔵菩薩が祀られている。墳丘は少々失われているが、主要な部分は風雪に耐えた状態でおおむね残っている。

墳丘は円形をしており「円墳」と呼ばれ、全国の墳丘の中で、最も多数を占める古墳の形式である。埋葬施設は、横穴式石室となっていて、全長7～8m前後と推定され、天井石らしい大礫が数個露出している。この古墳の築造は古墳時代の終末期と推定される。



虚空蔵菩薩

虚空蔵菩薩とは広大な宇宙のような無限の智慧と慈悲を持った菩薩という意味である。そのため智慧や知識、記憶といった面でのご利益をもたらす菩薩として信仰されている。京都の法輪寺では、13歳になった少年少女が虚空蔵菩薩に智慧を授かりに行く「十三詣り」という行事が行われている。